

様式第 3

会 議 録

会 議 名	令和 7 年度第 1 回野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会
議題及び議題ごとの公開又は非公開の別	【議題】 ・会長の選任について ・日中サービス支援型共同生活援助事業所の報告・評価方法について 【報告】 ・専門部会の活動報告について
日 時	令和 7 年 5 月 26 日（月） 午後 1 時 30 分から午後 2 時 15 分まで
場 所	野田市役所 8 階 大会議室
出 席 委 員	雨笠 均 清本 健二郎 小林 公平 平井 貴子 新家 とし子 田中 愛 中野 徹也 並木 徹 萩野 史啓 増田 雅樹 待山 弘 大野 祐子 加藤 満子 小俣 文宣 吉岡 靖二 本山 友行 加藤 憲三 石山 哲士 小嶋 亮 間々田 英示 秋鹿 弥由紀 武田 真弓 中山 知子 海老原 純一
欠 席 委 員	岡田 吉郎 田中 洋介 石井 周平 米 二貴 川嶋 文和 後藤 史子
事 務 局 等	今村 繁 （副市長） 小林 智彦 （福祉部長） 大月 加奈子 （障がい者支援課長） 山崎 優 （障がい者支援課長補佐） 飯塚 純子 （障がい者支援課相談支援係長） 星野 宏美 （障がい者支援課障がい者福祉係長） 田中 邦将 （障がい者支援課相談支援係主任主事）
傍 聴 者	2 人
議 事	令和 7 年度第 1 回野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会の会議結果（概要）は、次のとおりである。
障がい者支援課長補佐	【開会】 会議の成立について、30 人の委員中 24 人の委員が出席し半数以上の出席があることから、野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会設置要綱第 6 条第 2 項の規定により、本会議の成立を報告する。 会議録作成のため録音機を使用することの了承を得る。 野田市情報公開条例第 6 条に該当する不開示情報がないため公開とすること、傍聴者が 2 名いることを報告する。 配布資料を確認する。 委員の変更を報告する。

手話通訳者	手話の普及促進のため、手話学習を実施。
障がい者支援課長補佐	【議題1 会長の選任について】 会長が退任されたため、会長選出までの間、加藤副会長に進行をお願いする。
副会長	会長の選出方法について諮る。
小俣委員	指名推薦はいかがか。
	<異議なし>
障がい者支援課長補佐	異議がないため、指名推薦とする。推薦はあるか。
中野委員	市内で基幹相談支援センターの運営実績のある並木委員はいかがか。 <異議なし>
副会長	異議がないため、並木委員に決定する。 <会長のあいさつ>
会長	【議題2 日中サービス支援型共同生活援助事業所の報告・評価方法について】 事務局に説明を求める。
事務局	日中サービス支援型共同生活援助事業所の報告・評価方法について、資料1のとおり実施することを説明。 <了承を得る>
会長	【報告1 専門部会の活動報告について】 専門部会の部会長から説明を求める。 相談支援部会について、令和6年度は一回のみの開催であった。人事異動や新規の相談支援事業所が増えたことにより、新しく委員になられた人が多かったため、主に自己紹介と情報共有をした。相談支援専門員の悩みとして、新しい情報を得られる機会が少ないという意見があったため、令和7年度の活動として、他の専門部会で話し合われているライフサポートファイル、医療的ケアの現状、成年後見制度など、情報共有をしたい。合同開催にて研修会の実施も検討している。

中野委員	令和6年度の権利擁護部会では、成年後見市長申立て件数、虐待通報件数の報告を受けた。また、虐待防止についての協議を実施した。令和7年度では合理的配慮の対応について理解を深めるため、研修会の実施を検討している。
田中委員	就労支援部会では、令和6年度は農福連携と優先調達の取組についての報告、支援していく上での現状の困りごとを共有した。令和7年度ではケース検討も実施していきたい。また、10月からは就労選択支援事業も始まることもあり、他の専門部会とも連携して取り組むためにも、合同開催での研修会を検討している。
小林委員	子ども部会では、令和5年度にライフサポートファイルを作成し、利用を開始した。令和6年度ではそれがどのように活用されているのか、どのようにすれば利用しやすいか検討した。令和7年度に、相談支援部会と医療的ケア児者支援部会との合同開催で、ライフサポートファイルの活用について一緒に検討したい。
会長	医療的ケア児者支援部会は部会長が本会委員ではないため、代わりに副部会長である私から報告する。 昨年度は、令和7年2月に開催された千葉リハビリテーションセンターでの医療的ケア児等コーディネーター連携会議に私と障がい者支援課職員が参加したことについて報告し、他市町村の医療的ケアへの取組について情報共有した。また、医療的ケアに対応できる事業所が少ない中で、どのようなことが行えるかについても協議をした。これを踏まえ、令和7年度では多くの事業所に知識を深めてもらうために、子ども部会、相談支援部会との合同開催で、千葉県医療的ケア児等支援センターぱらりすを講師として招き、研修会をお願いしたい。
会長	地域生活支援拠点運営会議について、基幹相談支援センターの活動報告をした。年々相談件数は増えており、その中でも、精神障がいをお持ちの方の相談が非常に多い。また、時間外の緊急対応も増えている。
会長	専門部会からの報告について質問はあるか。
副会長	地域生活支援拠点等運営会議について、資料2では令和7年度も開催が1回しか予定されていない。他の専門部会と同じように年に3回は実施した方が良いのではないか。
障がい者支援課長	基幹相談支援センターの報告という内容から、年度末に1回のみの実施を予定していたが、複数回行うように会長とも相談

	の上決定する。
加藤委員	基幹相談支援センターの報告が主になっているが、専門部会の部会長で構成され、本来、自立支援協議会全体の運営についても話し合われるべきであったはず。
並木委員	基幹相談支援センターからの報告のみではなく、各部会長からの報告も受け、様々な課題への解決を検討したい。基幹相談支援センター、専門部会、行政との連携を深めて話し合いを行いたい。
福祉部長	専門部会の今までの回数については、コロナ禍から会議が少なくなり、それが当たり前の状況となってしまう点は反省すべき所である。障がい福祉について検討を重ね、専門部会がしっかりと機能する必要がある。
障がい者支援課長	令和6年度の専門部会の開催がそれぞれ1回のみであったことは、事務局が積極的に進めなかったことが原因と考え反省している。今年度は活動を活発化させ、有意義なものにしたいと考え、年度末までにそれぞれ3回の開催を予定している。活動の一例として、知識を深め合うために関係する専門部会が合同で研修会を実施すること、課題解決に向けた議論が考えられる。また、年度の最後の専門部会では、次年度に取り組むべき課題について議論し、委員が代わっても課題解決に向けた議論が途切れないようにしたい。さらに、当事者の意見を各専門部会にどのように反映させるかについては、今年度中に検討を重ねる。
会長	基幹相談支援センターでは、複数の課と連携して対応しなければならない困難事例も多くなっているため、今後そのような内容も情報共有していきたい。
事務局	【閉会】 日中サービス支援型共同生活援助事業所の報告・評価シートを7月中に送付する。 次回の開催は10月17日金曜日午前10時から、野田市役所8階の大会議室で開催を予定している。 午後2時15分閉会を宣言する。